

アンサンブル・ノマド 第63回定期演奏会



2018
6/22 Fri

東京オペラシティ リサイタルホール

18:30開場 19:00開演

超えるVol.1

外へ向かって

甲斐説宗: ヴァイオリンとピアノのための音楽 '67 (1967/1974)

Sesshu Kai: Music for Violin and Piano '67

ロバート・コバーン: 静寂の透かし彫り (2016)

Robert Coburn: Quiet Traceries

湯浅譲二: 弦楽四重奏のためのプロジェクション (1970)

Joji Yuasa: Projection for String Quartet

ホセ・マヌエル・ロペス・ロペス: 暗黒物質 (2013)

José Manuel López López: Materia Oscura

久田典子: 『黄色いレンガに導かれて』より「怪物と大きな黄色い花」 (2015)

Norioko Hisada: The Monster and Big Yellow Poppies from "Led by the Yellow Bricks"

出演者

Ensemble NOMAD

木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl) 花田和加子 (vn) 甲斐史子 (vn/va)

佐藤洋嗣 (cb) 稲垣 聡 (pt) 宮本典子 (perc) 佐藤紀雄 (cond)

Guests

川口静華 (vn) 松本卓以 (vc) 鈴木一青 (voice)

チケット (就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

【前売】一般	¥3,000	【当日】一般	¥3,500
大学生	¥2,000	大学生	¥2,500
高校生以下	¥1,000	高校生以下	¥1,500

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター
Tel: 03-5353-9999

お問い合わせ

キーノートTel: 0422-44-1165
keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

主催 / 一般社団法人 アンサンブル・ノマド
<http://www.ensemble-nomad.com/>

助成 / 芸術文化振興基金

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

Asahi アサヒグループ芸術文化財団

NOMURA FOUNDATION

公益財団法人 朝日新聞文化財団

超える Vol.1 外へ向かって

『超える』

むかしから世界には至るところに超えがたい障害として
人々の生活を分断してきた壁があった。

私達芸術に関わる者は
壁を空間の終わりと見るのではなく、
壁の向こう側へ想像力を膨らませる事が出来る
特権を持つ。

～外へ向かって～

「すべての優れたものは稀であるとともに困難である」
と言ったのはオランダの哲学者スピノザである。

世の中が易きに流れていく今、
同時にすぐれたものが置き去りにされていることに
抵抗するのも芸術の役目かも知れない。
敢えて難解な作品にじっと耳を澄まし、
自分の限界を超え、未知の世界へ
意志を向けてみる機会にしたい。

#63 出演メンバー



佐藤紀雄 (cond)



木ノ脇道元 (fl)



菊地秀夫 (cl)



花田和加子 (vn)



甲斐史子 (vn/va)



佐藤洋嗣 (cb)



稲垣 聡 (pf)



宮本典子 (perc)



川口静華 (vn)



松本卓以 (vc)



鈴木一青 (voice)



© Maki Takagi

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(游牧・漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されている。2002年に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2015年に行った定期演奏会「再生へVol.3:祈り～エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月には再び中国四川公演を行ったほか、今後も中国、オランダやドイツ、フランスなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリー活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤 譲「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。海外ではエルート・バスケスの「Bestiario(動物寓話集)」が2011年に、「Pruebas de vida(生命の証)」が2015年にリリースされ、2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる—Meguru」をリリース。2015年夏から秋にリリースされた「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分